

近江環人への道

(平成22年度)

2月 受講生募集

3月 入学試験
合格発表

4月 開講式

5月

6月 前期講義・実習

— コミュニティ・マネジメント特論

— 地域診断法特論

7月 — コミュニティ・プロジェクト実習Ⅱ

8月

9月 地域再生システム特論 (集中講義)

10月

後期講義・実習

— 地域再生学特論

— エコ・テクノロジー特論

12月 — コミュニティ・プロジェクト実習Ⅰ

実習中間報告会

1月 検定模擬試験

2月

近江環人検定試験

3月 検定合格発表

称号授与式

第7期
近江環人誕生!

第7期生募集スケジュール(予定)

- 2月17日～2月23日 出願期間
- 3月 8日 面接試験
- 3月15日 合格発表
- 4月 9日 開講式

地域社会は今、活気と元気を失い、かつてない危機に直面しています。
この危機の中、今まで見過ごされてきた地域の資源、「コミュニティの力の再発見と再評価」「ないものねだり」からあるものがしる「の地元学、地域再生への模索が始まっています。」
「近江環人地域再生学座」では、大学、企業やNPO、そして行政の力を吸収し、地元本来の資源と力を活かした地域再生の原動力となる人材を育成しています。
「近江環人地域再生学座」は市民・企業・行政の強力なバックアップのもと、第一線の講師陣によるプログラムを用意して、あなたの挑戦をお待ちしています!

まちづくりリーダーの証 「近江環人」

「コミュニティ・アーキテクト(近江環人)」とは、近江の風土、歴史、文化を継承し、環境と調和した循環型地域社会を形成するために、地域診断(環境、防災、土地利用、景観、資源、エネルギー等)からまちづくり(コミュニティ活性化、環境改善、市街地再生、地域文化育成等)をコーディネートする新たな職能として定義し、滋賀県立大学が称号を付与し、修了後も各方面とスクラムを組み、その活躍を後押しします。

お問い合わせ先(近江環人地域再生学座事務局)

- 滋賀県立大学地域づくり教育研究センター
- 住所:彦根市八坂町2500 交流センター内
- TEL:0749-28-8612
- FAX:0749-28-8567
- E-mail:chiiki@office.usp.ac.jp

公立大学法人 滋賀県立大学「近江環人」地域再生学座

近江環人ホームページ <http://ohmikanjin.net/>

「近江環人」

第7期生

募券集!

地域をつくる、あたらしい人
コミュニティ・アーキテクト

■「近江環人地域再生学座」には2コースがあります。

- Aコース** 大学院博士前期課程に在籍する学生を対象とし、修士の学位と合わせてコミュニティ・アーキテクト(近江環人)の称号(*)を付与します。
- Bコース** 行政・企業・NPO等に所属する一般の方を対象とし、コミュニティ・アーキテクト(近江環人)の称号(*)を付与します。

(*)「近江環人地域再生学座」を修了し、所定の検定試験に合格することによって、本学から「コミュニティ・アーキテクト(近江環人)」の称号が付与されます。

コース	募集人員	対象	終了年限	終了単位	学位
Aコース	若干名	大学院一般選抜および 社会人特別選抜	2年 (1年) *1	30単位以上 *2	修士
Bコース	若干名	上記以外 (科目等履修生)	1年	12単位	-

*1 ()内は、所定の要件を満たした場合の修了年限の短縮を示します。
*2 修士の学位を取得するためには、各研究科の必修科目、選択科目と併せて、「近江環人地域再生学座」の新設科目(必修12単位)を含む30単位以上の単位修得が必要となります。



図 近江環人地域再生学座教育プログラム(基礎科目・実習科目・検定試験科目)

■ 新設基礎科目・実習科目

地域再生学特論
滋賀県固有の歴史・文化・自然を基盤として、生きた地域再生学を学ぶために、「地元学」の観点から「近江八幡」「彦根」「長浜」「高島」「大津」を教材化し、行政或いは地域リーダー等による実践的講義を通して、「コミュニティ・アーキテクト(近江環人)」の職能と役割について学ぶ。

地域診断法特論
地域における人間、文化、環境、およびソフト、ハードの課題を、様々な側面にわたる調査データおよび既存データを駆使して読み解く技術を示すとともに、地域の現状を地域に即して分析、評価するための手法を示す。また、地域課題相互の関連性や対処法について、具体的な事例を踏まえて学ぶ。

コミュニティ・マネジメント特論
まちや地域のダイナミクスを作り上げている「人的、文化的、自然的」リソースに着目し、人材育成、地域環境、社会関係、コミュニティ・ビジネスの視点から学ぶとともに、それらをうまく活用する社会的、制度的、経済的な仕組みを理解し活用する方法について学ぶ。

コミュニティ・プロジェクト実習Ⅰ
実習テーマは、学生の問題意識や専門分野に応じて、滋賀県内における現実の課題(古民家再生、エコ村プロジェクト、地産地消、地域活性化、コミュニティ支援など)を選択し、指導教員とともに課題の背景、現状、評価、解決策について探り、地域に対する提案としてまとめる。

エコ・テクノロジー特論
サステナブル・デザインに必要な、省資源、省エネルギー、自然エネルギー、パッシブソーラー、水質浄化などの環境技術について、主に自然エネルギーによる創エネルギー、居住設備とパッシブソーラー、地球環境モデル地域創出のための環境技術の観点から体系的に学ぶ。

コミュニティ・プロジェクト実習Ⅱ
サステナブル・デザインの基本となる自然エネルギー(太陽光、風力、小水力、バイオ等)利用技術、パッシブソーラーを取り入れた木造建築技法、耐震実験などをグループで実施する体験型実習を行う。

多彩なスタッフ、充実したプログラムで、あなたのスキルアップを応援します。

■ 教育プログラムの5つの特色

- 地域再生から地域診断まで(コミュニティ活性化、環境改善、市街地再生、地域文化育成等)、地域固有の課題を読みとり、地域再生を総合的にオーガナイズしていくために必要な知識や方法論を、新設した講義、実習プログラムで指導します。学座指導教員を中心に、教育、研究、実務の実績豊富な学内外の教員スタッフが講義、実習を担当します。
- 地元学を生かした実践教育
「大津学」「彦根学」「長浜学」「近江八幡学」など実例から地域再生を学びます。
- 滋賀県を教材化した特色ある講義
地域再生学特論、地域診断法特論など滋賀県の自然、歴史、文化、産業、暮らしを教材化します。
- ダブルキャストによる徹底指導
コアスタッフと学内外教員の連携による対話型講義・実習で徹底指導します。
- PBL(Project Based Learning)による実践課題教育
コミュニティ・プロジェクト実習ⅠおよびⅡでは、PBLによる実践的指導を行います。
- 評価シートの導入による教育の質の確保
コミュニティ・プロジェクト実習ⅠおよびⅡでは、評価シートを導入し、教育の質を確保します。

■ 学座受講生に対する様々な支援

- コミュニティ・アーキテクトの職能を活かす将来設計を支援します。
・行政・企業・NPO法人等に対して就職等人材情報の提供を行います。
・将来の進路設計や企業内活動等に対する実践的な指導助言を行います。
- 行政・企業・NPO法人等との人的ネットワークの構築と活用を支援します。
・講義、実習を通じた学内外教員スタッフとの交流を積極的にサポートします。
・県内外の地域活動団体やリーダー、サポーターとのネットワークづくりをサポートします。
- 学座の受講以外において大学が保有する情報や技術フィールド、施設等の活用を支援します。
・大学と行政や地域が連携する自主的な研究活動の利便を図ります。
・地域づくり調査研究センターや地域産学連携センターなどが保有し、公開可能な情報等の活用についてサポートします。

■ 履修プログラム(時間割)

学期	曜日	時間	科目
前期	金	4時限 14:50~16:20	地域診断法特論
		5時限 16:30~18:00	コミュニティ・マネジメント特論
	土	3~5時限 13:10~18:00	コミュニティ・プロジェクト実習Ⅱ
後期	金	4時限 14:50~16:20	地域再生学特論
		5時限 16:30~18:00	エコ・テクノロジー特論
	土	3~5時限 13:10~18:00	コミュニティ・プロジェクト実習Ⅰ

■ 検定試験の内容

- 滋賀県の地域特性を理解し、行政、企業、NPOなど、それぞれの立場で地域再生に関与していくために必要な基礎的知識や技術を問います。
- Ⅰ 近江歴史地理文化基礎検定
 - Ⅱ コミュニティ・マネジメント検定
 - Ⅲ エコ・テクノロジー検定
 - Ⅳ 地域診断検定

■ 主な教育スタッフ (平成18・19年度実績、順不同)

- 学内教員
 - 環境科学部
 - 奥貫 隆
 - 仁連孝昭
 - 布野修司
 - 秋山道雄
 - 松岡拓公雄
 - 柴田いづみ
 - 陶器浩一
 - 村上修一
 - 高田豊文
 - 鶴岡 修
 - 富岡昌雄
 - 井出慎司
 - 倉茂好臣
 - 浜端悦治
 - 野間直彦
 - 香川雄一
 - 山根浩二
 - 河崎 澄
 - 工学部
 - 黒田未壽
 - 濱崎一志
 - 山根 周
 - 森川 稔
 - 武島高彦
 - 人間文化学部
 - 堀井とよみ
 - 秦 憲志
 - 奥野 修
 - 上田祥平
 - 近藤紀章
 - 桂田佳寿美
 - 伏見順二
 - 藤原梯三
 - 人間看護学部
 - 堀井とよみ
 - 地域づくり教育研究センター
 - 秦 憲志
 - 奥野 修
 - 上田祥平
 - 近藤紀章
 - 桂田佳寿美
 - 伏見順二
 - 藤原梯三
- 学外教員
 - 他大学
 - 神野直彦(東京大学)*
 - 木村至宏(成安造形大学)
 - 延藤安弘(愛知産業大学)*
 - 岩村和夫(武蔵工業大学)*
 - 金谷年展(慶応義塾大学)
 - 山崎一真(滋賀大学)
 - 和田 武(立命館大学)
 - 横山伸也(東京大学)
 - 近本智行(立命館大学)
 - 上野健一(筑波大学)
 - 藤山 歩(成安造形大学)
 - 行政
 - 嘉田由紀子(滋賀県知事)*
 - 内藤正明*
 - (滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター長)
 - 海東英和(高島市長)
 - 川端五兵衛(前近江八幡市長)
 - 三山元映(元山東町長)
 - 吉田一郎(元長浜市助役)
 - 近藤月彦(前滋賀県政策調整部長)
 - 三井利起(滋賀県)
 - 深尾基一郎(近江八幡市)
 - 企業
 - 高田統一(滋賀銀行)
 - 風見正三(株式会社大成建設)
 - 秋村田津夫(株式会社秋村組)
 - 木村 禎(木村電工株式会社)
 - 笹原可朗(株式会社黒壁)
 - 北嶋祥浩(株式会社アビエル建築都市)
 - 中西茂行(株式会社雄夢)
 - 中尾友一(アミタ持続可能経済研究所)
 - 中久美子(中久美子デザイン室)
 - 田中武夫(東和銀座商店街振興組合)
 - NPOほか
 - 阿部圭宏(NPO法人市民熱人)
 - 山田貴子
 - (NPO子供ネットワークセンター天気村)
 - 小川泰江(NPO法人びいめ〜る企画室)
 - 北川憲司
 - (滋賀県地方自治研究センター副理事長)
 - 堀池喜一郎
 - (NPO法人シニアSOHO普及サロン三鷹)
 - 石井和昭(NPO法人一粒の会)
 - 村上 敦(環境ジャーナリスト)*
 - 末富孝也(NPO法人HCC)
 - 山田 実
 - (滋賀県会議員・NPO菜の花プロジェクトネットワーク)

*印：公開特別講義